

平成21年度 第2回 米子市図書館協議会・会議録（概要）

日 時 平成22年3月30日 火曜日 午前10時から12時

場 所 米子市立図書館 大会議室（2階）

出席者 委 員

灘尾 亜紀子、永田 卓夫、塚田 京子、大原 俊二、齊木 恭子、
渡邊 眞子、高塚 はるか

事務局

（米子市立図書館）齊下館長、伊藤副館長

（米子市教育委員会）北尾教育長、手島生涯学習課長、田中主任

（総合政策課）白石企画員、大塚課長補佐、三上主幹（引継として）

欠席者 委 員

植田 潔、松本 修一

傍聴者 2名

【運営委員会の概要】

開 会

事務局より開会

北尾教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。年度末のお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。新たなメンバーでは第1回目の図書館協議会となります。よろしくお願ひします。事務局からの説明・報告の後、委員の皆様からご意見をいただきたく存じます。もう一つ、一番の関心事だと思いますが今後の図書館の整備方針について、庁内でのプロジェクトチームでの検討結果につきまして先日17日の議会の経済教育委員会で報告をさせていただきました。市民の皆様のご意見ご提言についてどう実現していくかという視点でやってきたつもりです。ただ1つ大きな課題がありまして、耐震調査を新年度実施いたします。整備方針案は出しておりますが、耐震調査の結果を受けまして、判定後の9～10月頃から本格的なスタートになるかと思ひます。その間、皆様のご意見を伺いながら方針をつめていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

会長及び副会長選出

事務局

（欠席者の報告）

本日は11月1日付の委嘱後初めての会議でございますので、会長・副会長について委員の皆様のご互選により選出いただければと思ひます。とはいえ、今回初めて顔をあわせていただく委員さんもおられると思ひますので、自己紹介をお願いいたします。

（出席者、自己紹介）

それでは、会長及び副会長の選出につきましてご意見等ございましたらお願ひいたします。

永田委員

執行部案はありませんか。

事務局

ただいま執行部案は、というご意見がございましたが準備がございますので提案してよろしいでしょうか。

(よい、との声)

それでは、会長に大原委員、副会長に渡邊委員を提案いたしますがいかがでしょうか。承認される方は拍手をお願いいたします。

(拍手多数)

では、大原会長、渡邊副会長ということでお願いいたします。席をご移動ください。一言ずつごあいさつをお願いいたします。

大原会長

大原です。先ほど教育長さんから図書館整備方針案や耐震調査などお話がありましたが、可能な限り意見を聞いて、ということでした。図書館協議会というのは、図書館長の諮問機関ということがひとつ、そして提供される図書館サービスへの意見を述べる、という役割があります。すばらしい図書館になりますよう委員のみなさんにどしどしご意見をおっしゃっていただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

渡邊副会長

大切な図書館についてみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

事務局

本日は会議終了を12時に予定しておりますので、みなさまご協力をお願いいたします。

この後の進行は、大原会長にお願いいたしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

大原会長

では議事の(2)平成21年度事業概要報告と(3)平成22年度米子市立図書館事業方針等について、まとめて説明をお願いいたします。

齊下館長

図書館長の齊下です。よろしくをお願いいたします。本日は初めてご出席の委員の方もおられますので、最初に(4)米子市立図書館施設について、を説明させていただきます。

(資料に基づき、(4)米子市立図書館施設について を説明)

なお、本日の会議終了後、司書が説明を加えながら館内をご案内いたしますので、前回の会で館内をご覧いただいた方もお時間がありましたらぜひ一緒にお回りください。

(ひきつづき(2)平成21年度事業概要報告と(3)平成22年度米子市立図書館事業方針等について、を説明)

大原会長

ただいま説明をしていただきました。まず施設の概要についてということから説明いただきましたが、ご質問などありましたらお願いいたします。

私の方から。まず蔵書冊数の統計を見てみますと、図書購入費が増えていることは大変ありがたいことなのですが、冊数が減っているのはなぜでしょうか

齊下館長

図書は廃棄しなければ冊数は増えていくことにはなりますが、基準を決めて廃棄しています。平成19年度に大規模な整理を行い、平成19～20年度と蔵書冊数が減っています。

大原会長

冊数が増やせないのは収容能力が原因ということがありますか

齊下館長

スペースに限界があり、判断をせざるを得ないという面もあります。

大原会長

米子市は他市に比べて1人あたりの蔵書冊数が少ない状態です。蔵書冊数を増やすために図書購入費の増額を要求してまいりました。冊数が一向に増えないというのは問題のような気がします。先日も新聞の縮刷版が放出されたと伺いました。貴重な資料が保存できない、また蔵書数も増えないというのは問題だと思います。このあたりについてもプロジェクトチームに考慮いただきたい。

渡邊副会長

学校支援の取り組みですが、図書が少ないとの声を聞きます。また学校に図書が出てしまいますと図書館の本が足りなくなってしまうということで図書が足りないなあということを感じています。

またレファレンスやメールへの対応はどうなっていますか。

伊藤副館長

ホームページ上から受付ができるようになっています。メールを通して対応しています。

大原会長

他館のレファレンスとの連携はどうなっていますか。

伊藤副館長

当館への問い合わせに対してのみレファレンス対応しています。他館のレファレンスについては参考にすることはあります。

大原会長

これまでのレファレンスで対応したものを集約したようなものがありますか。

伊藤副館長

記録は残していますが、まとめたものはまだありません。

大原会長

まとめたものがあれば同様の質問も減るのではないかと思います。

永田委員

図書館と公民館との連携はどうなっていますか。

齊下館長

各公民館で読み聞かせ等の活動はされていると思いますが、図書館が直接に公民館と連携をしているということはありません。活動団体の方で図書の貸出希望があれば団体登録をしていただいて団体貸し出しをすることができます。現在、つつじ号で公民館も拠点に

しながらまわっていますが直接公民館との連携はありません。

永田委員

地域では高齢者も増え、図書館に来たくても来れない方も増えています。図書館から公民館の図書室へ配本をするという考えはありませんか。

齊下館長

つつじ号は公民館の一部を停車場所として巡回していますが、公民館図書室への直接配本は人員配置や配本に係るコスト等もありますので、課題だと思います。

永田委員

最近の学校は立派な図書室が増えています。その他の学校図書室では新しい本も買えない状況があるのでは。子どもの読書活動を推進する観点から、公民館を図書館分館の代用として図書への関心を盛り上げていく必要があると考えます。

北尾教育長

学校図書館についてお話をさせていただきます。米子市ではここ10数年、学校図書館に力を入れています。図書職員が配置されるようになり、文部科学省の図書標準の冊数を一部は未だですがほぼ達成し維持しています。以前のような、学校図書館で動かない本がたくさんある、教員が時間を見つけて整備ができていない、という状況から、図書職員が配置されて激変しています。そうした中で図書館には学校図書館を支援していただいています。

永田委員

もう一点。以前にも言われていたことだが、児童文化センターにも図書室がありますが、そちらとの連携はどうですか。効率的な運営という視点からは一元化、これは難しいと思うがそのへんはどうなっていますか。

大原会長

一元化や重複部分があるといった状態について、かつて検討されたことがあります。

齊下館長

図書館と児童文化センター図書室の一元化ということですが、それぞれの設立の経過もあり早急に一元化はできません。図書館はすべての方を、児童文化センターは子どもや親子を中心に対応できる施設として運営していますし事業も行っています。連携については図書館の図書を長期貸出するなどできることから取り組んでいます。

永田委員

現状はよくわかりました。図書館行政として効率的な運営が行えるよう検討してください。

大原会長

15万人都市にふさわしい新しい図書館について考えていかなければならないし、先ほどの一元化など、図書館のあるべき姿について考えておかないといけないことだと思います。

渡邊副会長

3つありまして、事業説明にありましたが、図書館まつりは本当にたくさんの方が来ら

れますが本の持ち込みと持ち出しで一杯一杯という状態です。もっと図書館を理解していただくための取り組みが必要だと思います。

それから、市立図書館20周年について具体的な提案がなかったのが残念です。図書館に注目していただくせっかくの機会なので新しいことに取り組んでもらいたいと思います。

また、ボランティア育成ということがありましたけどどんなことをしているのでしょうか。

全体的に新年度行事が見えてこないように感じたのですが、近隣の図書館でいろいろな取り組みをしているということも視野に入れて取り組んでいただけたらと思います。

齊下館長

ボランティア育成については図書館に関わる方の裾野を広げられたらと、館内活動をしていただける方に協力をいただいています。こうした取り組みから発展していけたらと思いますがなかなか形になっていないのが現状です。

自発的なイベントも充分できていないという部分はありますが、連携事業等取り組みをすすめています。20周年について何か「20年を刻んだ」ということができたらと考えていますので提案として受け止めさせていただきます。

大原会長

10周年のときには立派な紀要を作りましたが、20周年では出ないということですか。

齊下館長

現在、要覧の作成を想定していますが予算的な問題もあり立派なものは作れないのが現状です。

大原会長

20周年に際し、要覧では盛り上がらないのではと危惧します。何かお考えをいただきたいと思います。

ほかにございませんか。

今日は総合政策課の方からもご出席いただいていますので、プロジェクトチームについて説明をお願いします。

白石企画員

(概要を説明)

大塚課長補佐

(資料に基づき、プロジェクトチームの進捗状況について説明)

高塚委員

このプロジェクトのホームページはありますか。

白石企画員

ホームページはありません。提供できる情報は米子市のホームページで提供していきたいと考えています。

高塚委員

このプロジェクトへの関心は大きいと思うのですが、みんな知らないと思います。利用している市民の気持ちを取り入れることで「自分たちが建てた」という思いを持てるんじゃないでしょうか。アンケートをとってみたり、募金を募ってみてもいいんじゃないかと思います。自分たちが関わったという気持ちをもてるんじゃないかなと思います。

大原会長

市民の盛り上がりについては「図書館友の会」も活動しておられます。

斉木委員

友の会で会長をさせていただいています。友の会では市民の声を届けたいと思っています。しかし、声を届けようにもこちらが身構えないと届けられないと私は感じましたので、もっと気軽に市民の声が届けられること、そしてその結果がわかるといいと思います。

渡邊副会長

耐震調査結果によるとは思いますが、15万人都市にはお粗末な図書館ですので、耐震調査と並行しながら新築や分館の設置も含めて検討を進めてもらいたいです。

斉木委員

個人的なことなんですけど、私は旧二中出身なんですけれども、旧二中が解体されるということで、学校があったという形跡を残してもらえたらと思います。

北尾教育長

図書館の側に碑があります。

大原会長

整備方針にあります「市民合意の形成」が大事だと思います。この会ではいつ具体的に話があるんでしょうか。

斉下館長

プロジェクトチームの動きとは別に、何か進展があるときは会を開催したいと思います。当面の予定としては耐震調査の結果報告が秋ごろになるかと思います。

大原会長

その際には事前に資料を示していただきたいです。

それから先ほどもありましたがインターネット上で意見を言えるようなシステムを作るような取り組みは。

斉下館長

図書館だけでなく美術館のこともありますので、内部で検討したいと思います。

大原会長

大事な情報は早く知らせて欲しいです。

また、工事等の影響で休館になるということであれば利用団体の声も聞いてもらいたい。

斉下館長

まずは耐震調査、その結果を受けて工事の方法等の検討ということになります。いずれにしても耐震調査の結果が出てからということになりますので、早めに情報提供をしたいと思いますし、ご意見につきましては色々な形で聞いていきたいと思います。

大原会長

増改築ということであれば、そこを運営する人も増えないといけませんので、職員体制づくりも考えていただくようお願いいたします。

他にございませんでしょうか。時間の方もまいりましたのでこれで今日の会を終わりたいと思います。長時間にわたる協議、ありがとうございました。